

農業と食を通じた`元気、づくり

組合員とJAのコミュニティ誌わい!わい!ひまわり vol.425

Wai!Wai! Himawari

特集 営農渉外に密着



9

SEPTEMBER
2025



 JAひまわり



常務理事
(信用共済事業担当)
吉村 正則



Wai!Wai! Himawari

組合員とJAのコミュニティ誌 わい!わい!ひまわり

vol.425
2025 SEPTEMBER

9

〰熱中症対策の徹底を〰

組合員の皆さん、日々暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。今年の夏は今までにない早い時期から、連日猛暑日が続いています。気象情報では、観測史上初（最高）などの言葉がよくつかわれています。やはりこれらの異常気象は地球温暖化の影響が大きいのではないのでしょうか。また、全国各地において熱中症警戒アラートが発令されるなど、熱中症で救急搬送される方が増加しています。

特に農作業などで屋外にて作業をされる方は水分・塩分補給を忘れずに十分に注意していただきたいと思います。

また、この6月1日に職場においての熱中症対策が義務化されました。具体的には熱中症患者の報告体制の整備や、熱中症の悪化を防止する措置の準備を行い、それぞれ作業をする従事者に対して周知させることが義務となりました。この改正内容を見ても、早期発見の体制、重篤化防止措置などが重要になってきていることがわかります。一人ひとりが気をつけていくことも大事ですが、周りの人がそれぞれ気を配る環境をつくることも大切です。

皆さんも、何事も無理をせず早め早めの対応を心掛けてまだまだ続くこの暑い夏をのりきっていきましょう。

- 2 なかま
- 2 ひまわりキッズ
- 3 特集 営農渉外に密着
- 6 ひまわりダイジェスト
- 8 農 -Farmers-
- 9 部会とともに
- 10 げんきの源
- 11 暮らしサブリぶらす
- 12 園 -Gardening-
- 13 家庭菜園
- 14 SDGsな女性部
- 15 To the future -未来へ-
- 16 ひまわり掲示板
- 18 MEMBER'S VOICE
- 18 地域農業応援店のWA!
- 19 理事会報告
- 20 お出かけまりくん



国際協同組合年



今月のひまわりキッズ HIMAWARI KIDS

増田 圭吾くん(3歳)

結友さん(1歳) 増田和将さん、まりえさんのお子さん
赤坂町

Q.好きな食べ物は何か?

A. 圭吾くん: トウモロコシ 結友さん: ニンジン

Q.好きな遊びは何か?

A. 圭吾くん: プラレール
結友さん: つかまり立ちができるようになりました

Q.ご両親からのメッセージ

A. いつも笑顔にしてくれてありがとう!
これからも楽しいことをたくさんしようね。



特集

宮農渉外に密着



地域農業を支える宮農事業では、JA職員が日々さまざまな業務に取り組んでいます。

その中でも、今回は「宮農渉外」として活動する職員にスポットを当てました。

宮農渉外は、組合員一人ひとりのもとへ足を運び、宮農に関する相談や資材の提案など、現場に寄り添ったサポートを行う存在です。

拠点の集約が進むなかでも、「出向く体制」を強化し、より身近な存在となるため、組合員とのつながりを大切にしています。

今回の特集では、宮農渉外の1日に密着し、その仕事内容や農業への思いをご紹介します。

宮農渉外に密着

宮農渉外は、生産者の宮農に関する「困りごと」を認識し、解決するための商品・方策を提案、農家所得の向上に貢献することを目的として活動しています。

今回密着した2人は、宮農資材センターの柳本さんと西部宮農センターの小久保さんです！

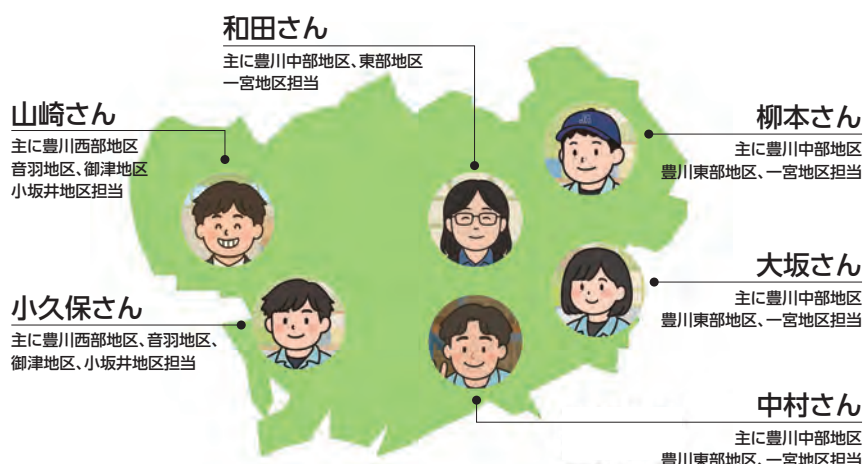


柳本さん

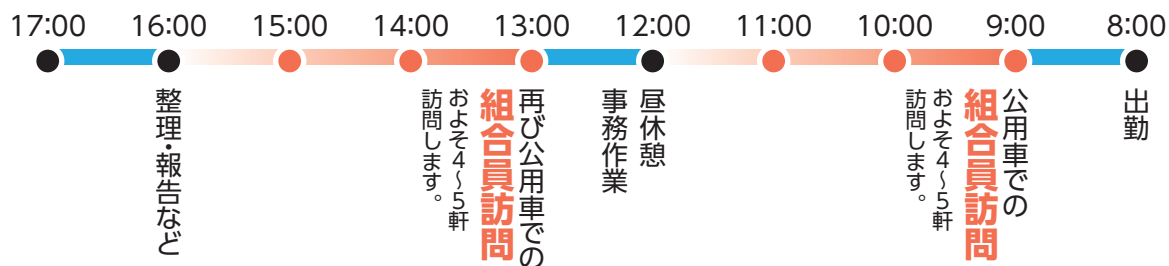


小久保さん

宮農渉外は、宮農資材センターと西部宮農センターに6名が配置されており、それぞれ担当の地域などが割り振りされています。豊川市のどのエリアにも対応できるよう体制を整えています。



1日のスケジュール



組合員からの「先日紹介してもらった遮光資材を設置してよかった」「定期的に顔を出してくれるから頼みやすい」といった声が励みになります。



訪問時には、肥料・農薬等の予約購買の受付や病害虫発生の情報発信、肥料や農薬等の資材提案を行います。農薬の配達もしています。



宮農渉外×宮農指導員の連携

ＪＡひまわりでは、地域農業の持続可能な発展と農家の経営支援を目指して、宮農渉外と宮農指導員が連携した活動を強化しています。今年度から毎月開催されている宮農指導・宮農渉外合同会議では、次のようなテーマについて意見交換を行っています。

- 地域ごとの課題や天候による影響
- 病害虫の発生状況とその対策
- 資材提案における注意点や現場の反応
- 新しい栽培技術や補助制度の情報共有



お互いの業務や
対応を把握することで
生産者フォローを万全に

宮農渉外

- 一歩踏み込んだ相談と提案により、ＪＡの肥料を利用いただいた
- 新規でＪＡの資材を利用いただいた
- 継続的な訪問活動と資材提案により、農作物の品質向上につながった など

宮農指導員

- 高温対策調査や農薬感受性検定結果（病気や害虫に、どの農薬がどれくらいよく効くかを調べた結果）に関する情報共有 など

役割の違いと連携の強み

宮農渉外

〔役割〕日々の訪問による相談対応、資材の提案・配達など
訪問活動がメイン業務です。水稻農家・産直出荷者への訪問に力を入れていきます。

宮農指導員

〔役割〕作物ごとの技術支援、講習会・現地指導など
宮農渉外も積極的に各部会の講習会に参加しています！

日常の困りごとが早期に指導員へ共有され、技術的な課題に対しタイムリーな解決が可能に。

今後も「宮農渉外」と「宮農指導員」が協力し合い、地域農業を支える「チームひまわり」として地域農業をサポートしていきます。

宮農渉外へのご連絡・ご相談は次の施設でお受けいたします！



西部宮農センター
豊川市御津町上佐脇西区75番地
☎76-22220（購買）
営業時間 8:30～17:00
（年末年始のみ休みあり）



宮農資材センター
豊川市三上町雨谷口34番地
☎85-1885
営業時間 8:30～17:00
（年末年始のみ休みあり）

6/24

豊川市産のキクラゲを使った イベント給食 キクラゲ農家と話に興味津々

豊川市は地産地消と食育推進を目的に毎月「豊川市産〇〇の日」のイベント給食を実施しています。今年度も当JAと連携し、豊川市産の農産物を使用した献立を提供しています。6月24日には代田小学校にて、産直出荷者組織協議会に所属するキクラゲの生産者と児童による会食会が行われました。会食後にはキクラゲについての話があり、児童は興味津々の様子でした。



▲キクラゲの菌床について説明する生産者



▲トウモロコシの収穫を体験する児童

7/6

令和7年度「わい!わい!農園」 トウモロコシの収穫を楽しむ

食農体験講座「わい!わい!農園」では第3回目の講座としてトウモロコシの収穫を行いました。参加者は4月に自ら植えたトウモロコシを1本1本収穫しました。講座では初めての収穫ということもあり作業を楽しんでいました。今後はサツマイモの収穫やダイコン、ジャガイモの収穫を予定しています。

7/19

グリーンセンター全店で 「スイカフェスティバル」を開催 旬のスイカに多くの人の 笑顔があふれる

グリーンセンターでは各店舗で旬のスイカをふるまう「スイカフェスティバル」を開催しました。グリーンセンター音羽では、カットスイカが試食として提供され、手にした来場者は旬のスイカのみずみずしさと甘さに笑顔があふれました。この日は「土用の丑の日」と重なっており、国産ウナギの炭火焼販売やグリーンセンター音羽独自のガラガラ抽選会も行われ多くの人で賑わいました。



▲カットスイカを試食する来場者

7/22

令和6年度いちご部会通常総会と 出荷反省会を開催 優良栽培者と 部会貢献の取り組みを表彰

いちご部会は総合集出荷センターにて令和6年度通常総会と出荷反省会を開催しました。通常総会では提出されたすべての議案が可決承認され、通常総会終了後には令和6年度の優良栽培者の表彰が行われました。また、市民や市内の飲食店に豊川市産イチゴのPRを行ったとして、いちご部会中ブロックの生産者が表彰されました。



▲左から順に受賞された日恵野克好さん(やよいひめ)、荒木義久さん(愛きらし®、全体)、鳥山隆夫さん(とちおとめ)、鈴木勇矢さん(新規栽培者)



▲夏休みの宿題に取り組む参加児童

7/23・24・25

「まりくんの夏休み見守りDAY」を開催 地域の組合員の 困りごとを解決!

昨年に引き続き、3日間に渡り支店等を開放し、小学生の夏休みの宿題への取り組みを見守る「まりくんの夏休み見守りDAY」を開催しました。この取り組みは地域の組合員の「夏休みの期間中、子どもの宿題をみてあげられない」という困りごとに対しての支援を目的とした取り組みです。今年度は小学4年生から6年生の児童を対象に実施し、のべ356人が参加しました。

7/25

令和6年度青年部通常総会、 役職員・青年部の意見交換会を開催 愛知県農協青年部委員長より 全国の事例を共有

令和6年度青年部通常総会と役職員・青年部意見交換会がホテルアソシア豊橋で開催され、青年部役員ら18人と役職員8人が参加しました。総会では令和7年度の役員選出において今泉直弘さんが部長に選出されました。

意見交換会では、愛知県農協青年部より、坂井委員長をお招きし、全国の青年部活動についての事例を共有いただきました。



▲坂井委員長の話を聞く青年部員・役職員ら

アールスメロンの花は大きな黄色の花です。花粉を出す雄花と、実をつける雌花に分かれています。



農畜産物を
生産・出荷している方々
をご紹介します

vol.33

アールスメロン生産者組織協議会所属 小林 正典さん

農業は第一次産業、なくてはならない。
食は農業から始まる

アールスメロンと
イチゴを栽培

20年ほど前に親元就農した正典さんは30アールのハウスでイチゴとアールスメロンを栽培しています。この2品目を栽培しているのは管内でもめずらしい組み合わせです。父親の代からこの品目を栽培しており、正典さんも引き継ぎました。正典さんのもう一つの栽培の特徴は土壌の恵みを最大限活

かして栽培する土耕栽培です。1年間で2品目を育てているため、植え替えの時期などは多忙を極めます。5月頃にイチゴの栽培が終わり、すぐにイチゴの株を片付け、アールスメロンの定植を行います。アールスメロンは盆を中心に1カ月ほどの出荷となりますが、9月からまたイチゴの定植が始まるので、絶え間なく栽培管理を行っています。

毎年1発勝負

アールスメロンは何度も収穫できる品目ではありません。定植から収穫までの時期には梅雨時期や本格的な暑い時期が重なります。栽培の工程も段階に分かれており、それぞれ気を配ることができませんが、最も気を配るのは「ネットを作る」作業です。アールスメロンは自ら少しヒビを作り、そこにかさぶたのようにネットができます。天候によっても大きく影響を受ける作業ですが、水の量や温度、葉かきなど、ネットが均等に入るように工夫します。これは毎年1発勝負なので、きれいな網目ができた時には、やりがいを感じるそうです。「店頭に並ぶまでいい状態にして仕上げていくので、ぜひ食べてほしい」と話します。

そんな正典さんは「農業は第一次産業として食の生産を担っている。そういった思いでこれからもがんばっていききたい」と話してくれました。



JAHIMAWARI

小林さんが所属している アールスメロン 生産者組織協議会

生産者数 22名 販売数量 150,000玉
栽培面積 5.2ha 販売金額 1.5億円

初出荷前に指導員がほ場を確認し、糖度と果肉熟度の確認を実施するとともに出荷時にも同様の検査を行い品質向上に努めています。

部会とともに

アールスメロン生産者組織協議会担当 田渕 智也さん

お互いの印象は？

小林さん：質問に答えてくれたり、定期的に来てくれるので前任からしっかり引き継いでいるという印象があります。

田渕さん：部会の役員の経験も長く、周りからの信頼が厚いという印象です。

あなたにとってどんな存在ですか？

小林さん：よく頑張ってくれているとともに、今後とも期待する存在です。

田渕さん：話しやすく、頼りになる存在です。



相手の方にメッセージをどうぞ

小林さん：部会で困っている人に、今後もしっかりと対応できる人でいてください。

田渕さん：期待に応えられるように頑張りたいです。

材 料 (3人分)

ピーマン	6個
タマネギ	1/4個 (50g)
昆布	適宜
水	500ml
合いびき肉	150g
ご飯	100g
A	
カレー粉	小さじ1/4
塩	小さじ1/4
ケチャップ	小さじ1
B	
ローリエ	適宜
酒	大さじ2
みりん	大さじ1
薄口しょうゆ	大さじ1
塩	小さじ1/2

作り方

- ①ピーマンはへたの部分を少し厚めに落として、軽く種を取る。へたはふたとして使うので取っておく。タマネギをみじん切りにする。昆布は水に浸しておく。
- ②ボウルに合いびき肉と①のタマネギ、ご飯、Aを入れてよく練る。
- ③②を①のピーマンに詰め、ピーマンのへたをふたのようにかぶせてようじで留める。
- ④③を重ならないように鍋に並べ、①の昆布と水、Bを入れて弱火で20分煮込んで出来上がり。



ドルマ トルコ風ピーマンの肉詰め

げんきの源
Genki no minamoto



今月の食材！ ピーマン

鮮やかな緑色と
シャキツとした食感
夏を彩るピーマン

ピーマンは、世界中で親しまれている夏野菜のひとつで、日本では炒め物や天ぷら、煮浸しなど、さまざまな料理に使われています。春に苗を植え、梅雨明け頃から本格的に収穫が始まります。

ピーマンはナス科の植物で、実はトウガラシの仲間。ですが、辛み成分「カプサイシン」がほとんど含まれていないため、辛くなく食べやすいのが特長です。形は

ふつくらとしたベル型が一般的で、豊川市でも多くの農家が栽培しています。

品種も多く、緑色の一般的なピーマンのほかにも、苦味が少ない「こどもピーマン」や、赤く熟した甘みの強い「赤ピーマン」などがあります。色が変わると栄養価も変化し、特に赤ピーマンにはビタミンCが豊富に含まれており、美容や健康にもうれしい食材です。

ピーマンには独特の苦味がありますが、その中には「ピラジン」という成分が含まれており、血液をサラサラにする働きがあります。また、食物繊維も多く含まれているため、腸内環境の改善にも役立ちます。

シャキツとした食感を活かすには、炒めすぎないのがコツ。肉と一緒に炒めた「ピーマンの肉詰め」や、ツナと合わせたサラダもおすすめです。暑い日には、細切りにして塩もみしたピーマンにごま油と醤油をかける「ピーマンのナムル風」も、さっぱりしていてご飯が進みます。

恐竜が生きていたのは、約2億3000万年前から6600万年前。今からは想像もつかないような、はるか昔のことです。その時代に生きた生き物の姿を現代に伝える「化石」は、地中の岩石に埋もれ、長い年月をかけて石のように変わったもの。骨だけでなく、貝や植物、時にはフンまでもが化石になります。こうした化石は、岩石を削ったり地層を調査する中で偶然見つかることが多く、地道な発掘調査によって丁寧に掘り出されます。山の斜面や川沿い、工事現場など、思わぬ場所で発見されることもあり、発見された地層の年代や環境から、その生き物がどん

健康や経済、先進技術などなど…暮らしに役立つ知識をピックアップ



恐竜と化石は太古のロマン

な時代にどこで生きていたかが少しづつ明らかになります。

日本でも恐竜の化石は各地で見つかっており、福井県のフクイラプトルや、北海道の「むかわ竜」が有名です。実はここ豊川でも、恐竜こそ発見されていませんが、かつてこの地が海だった時代の貝やウニ、サンゴの化石が見つかっています。地元の土地にも、何万年、何百万年というスケールの歴史があるのです。

最近では、恐竜と現代の鳥が進化でつながっていることもわかってきました。遠い昔の生き物たちが、今の暮らしとつながっていると考えると、自然や太古のロマンへの興味がますます深まります。





涼と食を生む 42年目の天然「緑のカーテン」

ep. 33

杉本 一松さん
諏訪

en



-Gardening-
ガーデニング

家庭菜園やガーデニングを
楽しんでいる方を紹介します

家を囲む「緑のカーテン」は今年で42年目を迎えます。一松さんは日陰を作ることと、幼い頃から食べてきたゴーヤを家庭で食べるために毎年、種からゴーヤを育てています。発芽した苗を植えるのは植木鉢で、20個ほど並んでいますが、一鉢に苗を2本ほどずつ植えて、2メートルほどの丈になるまで育てます。そこで上への成長を止めると左右へネットを這うように広がっていき、緑のカーテンが完成します。植木鉢以外にもコンテナや、地植えのスペースを使い、外壁のほとんどが天然のカーテンで覆われます。「手がかかるのは毎日2回ほどの水やりと2週間に1回の追肥ぐらいで、一番育てやすいのがゴーヤだと思う」と話します。



「ゴーヤが好きで1年中食べた」と収穫したゴーヤは軽く火を入れ、輪切りにし、冷凍保存しておきます。塩漬けや天日干しなど、いろいろな食べ方を試しましたが、ナスと豚肉とゴーヤを炒め、醬油で味付けをして食べるのが一番おいしいそうです。

一松さんは毎年、実の下の方が赤らんできたゴーヤから、翌年に育てる分の種を取っておき、1年後に植えて育てるという周期を繰り返してきました。

そんな一松さんは「自分が育てられる間は栽培を楽しみたい。来年分の種はちゃんと用意してあげどもね」と笑顔で話してくれました。

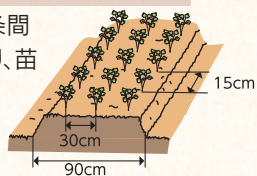
プロが教える
ワンポイント
アドバイス!

家庭菜園

Home vegetable garden 園芸研究家 成松次郎

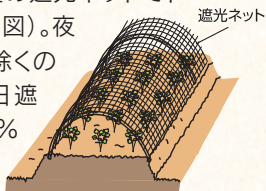
4 植え付け

幅90cmのベッドでは条間30cmの溝を3条に切り、苗を約15cm間隔で植え付けます(右図)。



5 灌水(かんすい)

水分を多く必要とするため、土が乾いたら少量を回数多く灌水します。夏の暑さ対策には50%程度の遮光ネットでトンネル被覆します(右図)。夜間や曇雨天時は取り除くのが良いでしょう。終日遮光をする場合は20%程度を使います。



6 病害虫の防除

アブラムシが付いたときは、見つけ次第、手でつぶしたり、登録農薬で駆除します。ハダニは主に葉裏に寄生し白い斑点やかすれた症状を示すので、登録農薬で防除します。農薬に頼らない防除法として防虫ネットのトンネル被覆がお勧めです。

7 収穫

草丈が30~40cm、葉数が10~15枚くらいになったら、抜き取って収穫ができますが、下葉を順次切り取るのも良いでしょう。春と秋では、1、2週間に1、2枚ずつ収穫できます(右図)。花茎が伸びてきたら、常に摘み取ってください。



栽培カレンダー(コリアンダー(パクチー))

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
冷涼地		●	▲	■		●	▲	■
中間地	●	▲	■					
暖地					●	▲	■	

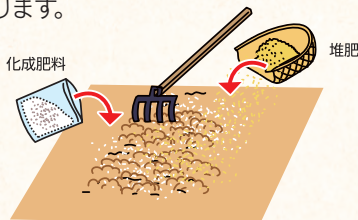
● 種まき ○ 苗作り ▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

1 品種

「サワディ」(トキタ種苗)、「ぱくぱくクチャー」(サカタのタネ)などがありますが、一般には「コリアンダー」や「パクチー」の名で販売されています。

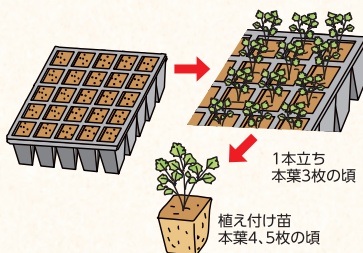
2 畑の準備

事前に1平方m当たり苦土石灰200gを菜園全体に散布して耕しておきます(下図)。その後、堆肥2kgと化成肥料(NPK各成分10%程度)100gを施し、土とよく混合し、幅90cmのベッド(栽培床)を作ります。



3 種まき

ペンチなどを使い、種を軽く押して割れ目を入れ、一晩水に浸すと発芽が早まります。小型の連結ポットや7.5~9cmポットに4、5粒まき、5mm程度に浅く覆土します。一つの殻に二つの種が入っているため、通常1粒から2株発芽しますが、その後間引いて本葉4、5枚の1株立ちの苗に仕上げます(下図)。間引きの際は残す株を傷めないように根元をはさみで切り取ります。じかまきの場合は、条間30cm、約1cm間隔の筋まきをし、徐々に間引いて、最終株間を約15cmにします。



「コリアンダー」(パクチー) エスニックな香りと味を楽しむ

コリアンダーは地中海原産のセリ科野菜。中国ではシャンツァイ(香菜)、タイではパクチーと呼ばれ、中華料理やエスニック料理に欠かせない食材です。セリに似た濃緑色の葉には独特の強い香りがあり、肉料理の添え物や炒め物に使います。成熟した種子は芳香とスパイ

シーな風味があり、香味料になります。比較的冷涼な気候を好み、中間地などでは夏には高温を避けるため、遮光するとよく育ちます。中間地では冬を除いて周年栽培できますが、種まきに適しているのは春(4月)と秋(9月)です。収穫は種まき後約2カ月で始められます。

SDGsな女性部



女性部のできごとをお伝えします

チームウバザクラ

トウモロコシパンに挑戦

わい！わい！活動エリアグループ「チームウバザクラ」は7月8日にわい！わい！ホール料理教室にて米粉を使ったトウモロコシパンを作りました。メンバーが栽培しているトウモロコシをふんだんに使い、外はカリカリ、中はフワフワなトウモロコシパンができました。

参加者からは「米粉を使うと発酵がないため手間なく簡単に作ることができた」「トウモロコシの甘味があっておいしい」と好評でした。次回はコンニャク作りを予定しています。



菜の花

五平もちと夏野菜料理に挑戦！！

わい！わい！活動エリアグループ「菜の花」は7月9日に五平もち作りとナス・オクラを使った夏野菜料理を作りました。五平もちづくりでは、もち米を炊き、焼き台を使って、香ばしく焼き上げ、手作りの甘いタレをたっぷりつけました。付け合わせには、色鮮やかなナスとオクラの煮びたしと黒瓜の浅漬けを作り、季節の野菜を取り入れた料理を堪能しました。

参加者からは「家庭でも作ってみたい！」「五平もちが思ったより簡単で驚いた」といった声が聞かれ、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。



家の光記事活用グループ

牛乳パックを使ったメガネケース作り

わい！わい！活動「家の光記事活用グループ」は、家の光に掲載されている記事からピックアップして活動をしています。7月3日は、家の光2月号に掲載された「牛乳パックを活用！眼鏡ケース」を参考に、眼鏡ケースを作りましたが、牛乳パックを裁断して組み立てる作業に苦戦しました。組み立ててからは、それぞれが持ち寄った布地を仲間同士で相談しながら創意工夫をして貼り付けていました。作品がかわいらしく仕上がったので、参加者からは「もう1回家で作ってみる」という声もありました。





ファイナンシャルアドバイザーリーセンターは令和6年に新設されました。組合員・利用者のライフプランに沿った資産形成、資産運用についてご相談いただける専門部署です。NISA（少額投資非課税制度）やiDeCo（個人型確定拠出年金）、

投資信託などについてご案内しています。

曾田センター長は「組合員・利用者の大切な資産を預かり、守るため一生懸命頑張っています」と話しました。

金融課 ファイナンシャルアドバイザーリーセンター (FAセンター)

豊川市諏訪1丁目1番地 本店1階フロア金融課内 ☎56-3120



JAひまわりの部署・職員を紹介します

未来へ

To the future

ピックアップ職員



豊田 尚大さん

Q.好きなことは何ですか？
フットサル

Q.最近感動したことは何ですか？
子どもの成長を感じたこと

目指す職員像

組合員・職員どちらからも

頼られる職員



あなたも地域農業の応援団！ JAって何？組合員とは？ JA組合員講座 受講生募集！（予告）

准組合員の皆様を対象に、JAひまわりの取り組みや地域の農業・農家の思いを知っていただく体験型講座です。普段入ることが出来ない農業関連施設にもご案内します。週末に開催いたしますので、平日にお勤めの方も是非ご参加ください。

〈対象〉JAひまわりの准組合員で過去に受講されていない方で全4回出席できる方

〈募集人数〉15名(申込多数の場合は抽選)

〈参加費〉2,000円(全4回分)

〈開催日程〉令和7年10月～令和8年1月(月1回)

※詳細は店頭ポスター、JAひまわりLINE公式アカウントにて告知いたします。

〈お問合せ先〉総務課 ☎85・3171



不要農業用資材の 有料回収について

不要農業用資材の有料回収を下記の日程で行います。回収にあたっては事前の申し込みが必要となります。

申込用紙は、農機センター、農機センター西部出張所、総合集出荷センター、営農資材センター、営農資材センター東部出張所、西部営農センター購買窓口、各事業所に設置します。

〈回収場所・日時〉

回収場所	回収日時	回収物の種類
営農資材センター 東部出張所 (大木町鎌水321-2)	10月28日(火) 9:00～11:00	廃ビニール・廃ポリ 一宮支店管内の方
	10月28日(火) 13:00～15:00	廃ビニール・廃ポリ 上記以外の地区の方
	11月11日(火) 9:00～11:00	廃プラ 一宮支店管内の方
	11月11日(火) 13:00～15:00	廃プラ 上記以外の地区の方

※回収日当日は認印をご持参ください。

〈事前説明会〉

営農資材センター東部出張所での回収について

日時 10月10日(金) 18:00～

場所 一宮支店3階大会議室(大木町鎌水321-2)

※今年度は、とまと集出荷センターでの回収を行わず、営農資材センター東部出張所へ集約させていただきますのでご了承ください。

〈今後の回収予定〉

日程	回収場所	回収物の種類
12月9日(火)	御津ライスセンター	廃ビニール、廃プラ、廃ポリ

※今後の案内は、広報誌の「ひまわり掲示板」にて順次掲載します。

〈お問合せ先〉農機センター ☎85・2555
農機センター西部出張所 ☎76・2200



『家の光』『地上』『ちゃぐりん』 年間購読【前納】の継続について

日頃は、「家の光図書」をご愛読頂きありがとうございます。年間購読契約を頂いている方につきましては、2025年11月号をもちまして購読期間が満了となります。お申出がない場合は、自動継続扱いとさせていただきます。購読を中止する場合は、「家の光図書購読【新規・解約・変更】申込書」の提出が必要となりますので、9月10日(水)までにお近くのJAひまわり各支店窓口にてお手続き頂きますようお願い申し上げます。なお、お電話によるご購読中止の受付は出来かねますのでご了承ください。また、新規年間購読につきましても受付けています。

〈お問合せ先〉組織活性課 ☎85・3195



グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ小坂井店 9月休業日のお知らせ

グリーンセンター豊川・一宮・音羽	無 休
産直ひろば御津	無 休
Aコープ小坂井店	無 休



グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ イベント情報

グリーンセンター全店

▶9月6日(土)・7日(日) わい!わい!ポイント大抽選会
わい!わい!ポイント300ポイントでガラガラ抽選会に参加できます。空くじなしです。是非ご参加ください(景品がなくなりしだい終了)。



決算棚卸による 営業時間変更のお知らせ

9月30日(火)は仮決算棚卸業務のため、以下の店舗の営業時間を変更させていただきます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

店 舗	営業時間
営農資材センター、営農資材センター東部出張所、西部営農センター(購買)、畜産課	8:30～12:00
農機センター、農機センター西部出張所	
グリーンセンター、産直ひろば御津	9:00～13:00



農機センター 9月休業日のお知らせ

農機センター	☎85・2555 毎週水曜日
農機センター西部出張所	☎76・2200 毎週水曜日

各種相談のご案内

税務相談会 (奇数月25日)

9月25日(木) 14:00～17:00 (1日3組・1組50分間)
本店 組織活性課 ☎85・3195
一宮支店 ☎93・3535
御津支店 ☎76・2131
小坂井支店 ☎78・3141

遺言・相続相談会 (受付開始9月1日9:00～)

9月19日(金) 13:00～17:00 (1日4組・1組50分間)
本店 組織活性課
☎85・3195

土曜共済相談会

9月20日(土) 9:00～16:00
本店 共済課
☎85・3590

土曜・日曜ローン相談会

毎週土曜・日曜日 9:00～17:00
ローンセンター
☎56・7770

土地売却相談・土地活用相談・ 相続税試算相談

不動産相談センター ☎89・6211
随時開催しています。
※ご希望の方は事前にお問合せください

介護相談

介護福祉センター ☎83・8580
介護に関することはお気軽にご相談ください。
※介護サービスを利用していない方が対象です

葬儀相談

やすらぎ会館三蔵子 葬祭課 ☎85・0900
相談受付10:00～15:00
何でもご相談ください。

LPガス相談

燃料課 ☎89・5558

▲各種相談は随時受付しています。
事前にお電話いただくと受付がスムーズです。



豊川市からのお知らせ 今年は国勢調査の年です 調査への回答にご協力をお願いいたします

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。住民登録とは関係なく10月1日現在、ふだん住んでいる場所で回答していただきます。
- 第1回調査は大正9年(1920年)に実施され、今回の調査で22回目を迎えます。
- 9月中旬から調査員が直接訪問し、簡単な質問をし、調査書類をお配りします。
- 回答はインターネット回答もしくは紙の調査票を郵送でご回答いただけますようお願いいたします。調査員に直接提出を希望される方は、調査員がお伺いした際にお申し出ください。
- 国勢調査の結果は、さまざまな法令にその利用が定められているほか、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。
- 回答された内容は、統計法によって厳重に守られ、統計以外の目的に使用されることはありません。

〈お問合せ先〉令和7年国勢調査豊川市実施本部
豊川市役所 行政課内 ☎89・2119



 国勢調査 2025



アスパラガス生産農家募集！ アスパラガスを栽培しませんか？

- おいしくて、栄養豊富なアスパラガスを生産しませんか？
- 無加温(暖房を使用しない)ハウスでの栽培です。
 - 2月から10月頃まで収穫できます。
 - 一度植えれば8年以上収穫できるため、安定生産が見込めます。
 - 東三河地域青果物パッキングセンター(御津町)を利用すれば出荷調整作業は不要です。
- 当JAの生産部会や研修制度を通じて、栽培技術をお教えます。ご興味のある方は下記までご連絡ください。

〈お問合せ先〉青果課(JAひまわり総合集出荷センター)
☎85・1234 担当 森田・宮崎



本店・各支店の金融共済業務にかかる 営業時間変更のお知らせ

10月1日(水)より営業時間を下記のとおり変更させていただきます。

〈営業時間〉

現在 9:00～16:00 ➡ 変更後 9:00～15:00

営業時間変更により、ご不便ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。

MEMBER'S VOICE

お便り紹介



貴重なご意見・ご要望をありがとうございます

皆様のご要望に応えられるよう、より一層努めてまいります

▼豊川市文化会館で総代会が開かれていたことを初めて知りました。定期貯金のキャンペーンを毎年利用しています。今年もまた利用してみたいと思います。

(30代 大木新町通)

▼先日、トウモロコシをグリーンセンターで購入しました。新鮮でおいしくいただきました。

(50代 赤坂町)

▼「お出かけまりくん」を読んで、30年以上も前から陸上自衛隊豊川駐屯地で「なつまつり」していたことを初めて知りました。歴史を感じました。

(40代 八幡町)

▼准組合員となり、かなりの年数になりましたが、窓口担当者の対応が親切、丁寧であり、今後も利用していきたいと考えています。

(70代 萩山町)

▼広報誌が配られて、総代会の記念品の商品券のことを思い出しました。グリーンセンターで利用したいと思います。

(40代 蔵子)

▼グリーンセンターにスイカがたくさん並んでおり、値段も手ごろでうれしく思いました。たくさん食べて猛暑を乗り切ろうと思います。

(70代 平尾町)

「JAに対するご意見・ご要望を」

多くの組合員・利用者の皆様からの「ご意見・ご提案」をお待ちしています。なお、次ページの専用はがき以外（官製はがき、封書）での投稿も受け付けています（その場合の郵送料は応募者負担です）。

グリーンセンターや産直ひろばで販売する農産物を使用する「地域農業応援店」を紹介します

〈地域農業応援店〉

イタリア料理
GITA
ジータ

豊川市山道町1丁目83番地

☎84・3788

〔営業時間〕12:00～
18:00～

〔定休日〕日曜日・第3月曜日

※仕入れ等の状況によりメニューが変わることがあります。

※現在は前日までの予約制になっています。詳細はお電話にてご確認ください。



マCHEDニア

“たくさんの種類を混ぜたもの” という意味のマCHEDニアはフルーツをふんだんに使用したイタリアの発祥のデザートです。地元産の巨峰・シャインマスカット・ブルーベリーが使われています。シロップ・レモン・リキュールなどが加わり、爽やかな味わいです。夏の時期だけの旬のおいしさをお楽しみください。



「シンプルに美味しいと思うものをお届けしたい」というコンセプトのもと、

三河湾の海の恵み、地元でとれる季節を感じられる食材など、素材本来の味を生かしたコース料理をご用意しております。GITAとはイタリア語で“小旅行”。日常を忘却し、小旅行気分で大変な方のお食事を楽しんでいただきたいと思います。

「地域農業応援店」随時募集中 詳しくは企画課までお問い合わせください。☎85・3171

事業データ

販売品販売高	22億3,612万円
購買品供給高	14億3,701万円
貯金・定期積金	3,351億1,088万円
貸出金	720億4,203万円
長期共済保有高	5,909億7,697万円
年金共済保有高	75億2,010万円
組合員	正組合員 6,832人
	准組合員 29,132人
	令和7年6月30日現在

理事会決議事項

■と き 令和7年7月31日(木)

■決議事項

- 定款第55条第1項第19号に基づく説明書類(ディスクロージャー誌)について
- 本店空調設備更新の業者選定について
- 当組合理事との貸し出し取引(当座貸越)の契約更新について

以上議案は承認されました。

Wai!Wai! Himawari 2025.9月号

- 今回の特集に対するご意見をご記入下さい。

- J Aひまわりに対するご意見・ご要望などをお書き下さい。

グレー線部とのりで貼り合わせて下さい

住 所

〒
豊川市

お名前

年齢

組合員区分

○を付けて下さい

正組合員

・

准組合員

歳

電話番号

()

ご協力ありがとうございました



車で事故を起こしてしまったときは

共済課 ☎85・3175(直通)

8:30~17:00(土日及び祝日以外)

夜間・休日の場合は ☎0120・258931

(365日24時間対応)



キャッシュカード・ローンカードを 紛失・盗難されたときは

金融課 ☎85・3173 または 各支店窓口

9:00~17:00(土日及び祝日以外)

JAの安心コール ☎0120・089286

(365日24時間対応)



プロパンガス・ガス器具のご用命は

燃料課 ☎89・5558(365日24時間対応)



会館葬など各種葬儀のご相談は

葬祭課 ☎85・0900(365日24時間対応)

日曜日は無料相談日(要予約)



アパート物件情報・ 不動産売買のご用命は

資産管理課 ☎89・6211

個人情報保護のため、キリトリ線に沿って切り取りのり付けしてご投函下さい。

皆様から寄せられたご意見等は、毎月の定例会議などにおいて共有化を図り、迅速な対応や改善を心掛け、事業運営や組織活動に反映できるよう努めて参ります。

また、投稿用はがきにより取得した個人情報については、商品発送、ご意見等における対応以外の目的には使用致しません。

豊川市周辺のお出かけスポットをまりくんが毎月ご紹介します

お出かけまりくん



今月のお出かけ先

武道館

ぶどうかん

豊川市八幡町弥五郎105

豊川市には「弓道場」「柔道場」「競技場」の施設として「武道館」が建てられているよ。ミーティング室やトレーニング室などもあるから、利用してみてね。「道」を極めるスポーツもかっこいいよね！



柔道や弓道や剣道は
日本の伝統的な
文化でもあるよね！



次はゆっくりと時間の流れを感じるのもいいよね

Wai!Wai! Himawari

組合員とJAのコミュニティ誌 わい！わい！ひまわり

2025
SEPTEMBER
VOL.425

9

発行日：2025年8月15日

発行者：ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地 TEL 0533(85)3171

広報誌はホームページでも見られます

JAひまわりホームページ

<https://ja-himawari.com/>



JAひまわり
LINE公式アカウント



グリーンセンター・産直ひろば
Instagram



料金受取人払郵便

豊川局承認

5042

差出有効期間
2025年
10月31日まで

POSTCARD

4 4 2 8 7 9 0

豊川市諏訪1丁目1番地

ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

「Wai!Wai! Himawari 9月号」係

PRESENT

JAひまわり産
『アールスメロン』
抽選で5名様へ
プレゼント!!



〈応募方法〉

裏面に住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。また、JAひまわりに対するご意見、ご要望などもお待ちしております。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

〈応募締切〉 2025年9月15日迄

※写真はイメージです

本誌は、JAひまわりの組合員向け広報誌(月刊)です。農業者以外の方でもJAの組合員になることができます。組合員への加入等については、当JAの本支店窓口にお問合せください。

※山折りして記入いただいた個人情報をお隠し下さい。